

雌の成熟度の指標であるGSI値は、H23年並みに推移しています(図1)。H23年のウライ調査によると、鷓川への遡上は開始日が11月4日、遡上盛期が11月15日頃でした。

図1 シシャモ雌の生殖腺重量指数 (GSI) の変化

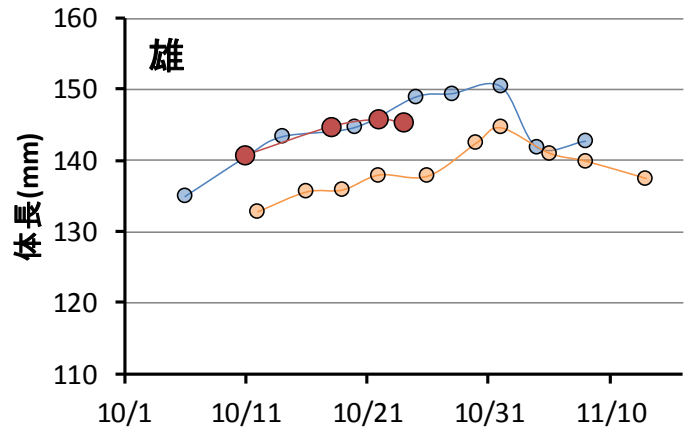
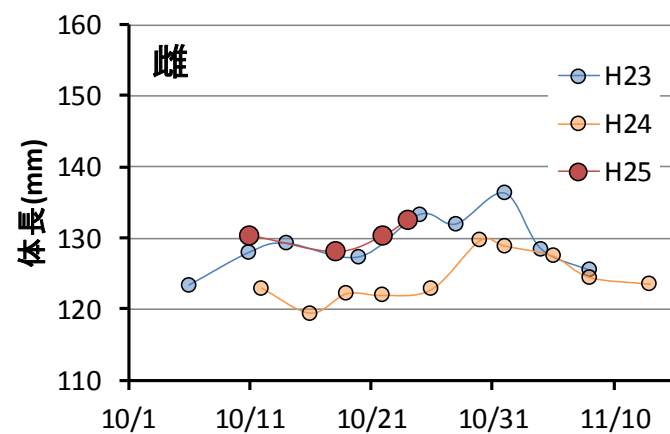


図2 鷓川沖における漁獲物の平均体長の変化

魚体サイズは昨年に比べて大きく、10月24日の鷓川沖における漁獲物の平均体長は雌133cm 雄142cm (図2), 平均体重は雌30g雄41gでした。2歳魚の割合は約6%で、例年並みとなっています。



成熟度によるシシャモの河川への遡上予測について

道南太平洋海域のシシャモは産卵期になると、雌の卵巣の生殖腺重量指数 (GSI=卵巣重量÷体重×100) が25、すなわち卵巣重量が体重の1/4に達したところに河川へ遡上を開始することが知られています。そこで、GSIが25に達する日を推定することで遡上日を予測しています。栽培水産試験場では、鷓川沖、日高富浜沖で漁獲されたシシャモ雌の成熟度調査を実施しています。